雨と土砂災害の関係を知りましょう

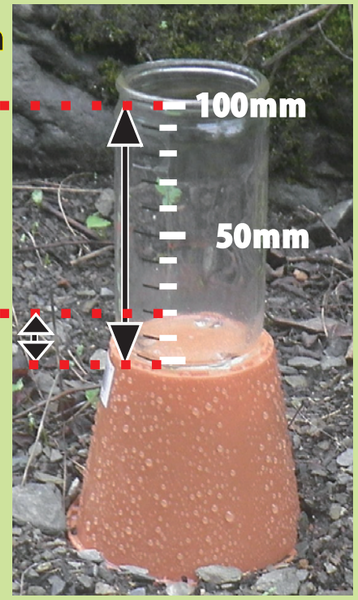
土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。
自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。
なお、カップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です。

■ 誰でも簡単に雨量計測できる簡易雨量計測の方法

カップ酒のビンなどの**寸胴の容器にメモリをつけて**、雨が降り始めたら、**地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に**容器を設置。こまめにたまった**水の深さを確認**しましょう。

連続雨量で 100mm 以上の雨
100mm たまる

時間雨量で 20mm 以上の雨
1 時間に 20mm 以上たまる



高さ 10cm のカップ酒の瓶を使った雨量計測

※ 1 時間に 20mm の雨のイメージ
車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。
これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

土砂災害警戒情報
地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生の危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示
災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発令される情報

前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を発見したら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には

がけに割れ目が見える

がけから水が湧き出ている

がけから小石がパラパラと落ちてくる

土石流の発生前には・・・

急に川が濁り、流木が混じっている

雨が降り続いているのに、水位が下がる

山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・

井戸水が濁る

地面に割れ目が見える

斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

■地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
■ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
■小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる　　など

災害情報サービスをご活用ください

防災釜石広報 ☎ 0800-8003199（通話料無料）※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHS から利用可能です。
防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

小白浜町内会自主避難計画

小白浜町内会は、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

① 日頃からやっておくこと

裏面の防災マップを参考に、降雨時に確認できる予兆現象や、自宅周辺の避難場所（比較的安全と思われる場所や建物）、避難経路、住民間の連絡方法を確認しておきましょう。カップ酒の瓶等を用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

② 雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

●土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。
（※1 時間に 20mm、連続雨量で 100mm の雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
●**避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。

③ 自主避難基準に達したら、町内会役員等に報告して、すぐに避難対応！

自主避難基準　次のような状況になったら、ただちに避難を開始します。

- □ 避難開始の**目安となる現象が確認**された場合
（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- □ 地区内のがけや沢で**土砂災害の予兆現象（裏面に示す現象）が確認**された場合
- □ 釜石市役所が**避難勧告や避難指示（緊急）**を発令した場合
（避難に時間のかかる方と、その避難を支援する方は、避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき早めの避難を開始します）

自主避難基準が確認されたときの避難対応

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応を取ってください。
土砂災害のおそれのある区域の外に出ることを心がけましょう。

比較的安全と思われる最寄りの建物・場所へ避難
→ **唐丹小学校・唐丹中学校体育館**
→ **愛恵会**
→ **東団地（復興住宅敷地を含む）および隣接する広場**

なお、すでに道路が冠水しているなど、**移動に危険が伴う場合**は、
自宅を含めて、がけや沢から少しでも離れた建物の２階以上へ避難

この計画は、平成 28 年 10 月～12 月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、小白浜町内会として検討したものです。

釜石市　唐丹地区
洪水・土砂災害緊急避難地図
小白浜町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

- 避難開始の目安となる現象
- 降雨時に確認される前兆現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄
- 比較的安全と思われる場所や建物

その他の地域情報

避難の目安
◆　降水量が次の基準に達した場合
- 1 時間に 30mm 以上
- 連続雨量で 150mm 以上

【連絡】
消防団の巡回監視／異常発見者
→唐丹地区応援センター経由で班長に連絡
→町内会長
防災行政無線で避難の呼びかけ

土砂災害の危険性

岩手県砂防基礎調査結果に基づく区域
- 土砂災害の危険性が特に高い区域
- 急傾斜地崩壊の危険性が高い区域
- 土石流の危険性が高い区域

岩手県による土砂危険区域
- がけ崩れの発生するおそれのある区域
- 土石流の発生するおそれがある区域

その他の危険性

- 平成 23 年東北地方太平洋沖地震津波の浸水範囲

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の空中写真及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　平 28 情使、 第 618 号）

0　100　200　300　400 m

雨が降って、枯れ葉等が排水溝に詰まったとき溢れて水が出ることがある

いつもジメジメしている（解消済）

台風等の大雨のとき、造成地背面の斜面から水が出ることがある（造成に伴う伐採などによる保水力の低下が影響か）

唐丹小学校・唐丹中学校体育館（拠点避難所）

東団地・復興住宅・民地（空き地）

崖：擁壁なし（未施工区間：高さ 15m、長さ 50－70m 程度）

がけ崩れ（30 年くらい前）現在は擁壁あり

愛恵会

崖　擁壁あり

平成 27 年春頃、雨により土砂が崩れ、道路に落ちたことがある

50～60 年前、暗渠老朽化のため道路が陥没したことがある。（被害なし）

降水量が次の基準に達した場合
・1 時間に 30mm 以上
・連続雨量で 150mm 以上

45

N

平成 29 年 3 月作成